

## 事業概要・目的

- ✓ 健康・医療分野のデータを活用した都民の健康増進に関する新たなサービス、予防研究に関する先行的なプロジェクトを支援し、データの利活用モデルを構築するため、**2つのモデルPJ及び5つの事業化促進PJ**を採択・支援
- ✓ 本事業を広く周知するとともに、自治体・大学・民間企業等のネットワークを構築することを目的に、**ネットワーキングイベント**を開催するとともに、**データ利活用検討会**では、ウェルネス分野のデータ利活用の在り方や今後検討すべき取組の方向性を議論

## 令和2年度事業の内容

### 実証PJの実施支援

#### □ モデルPJ（2件）

- 区市町村と民間事業者等との連携による、新たなウェルネスサービスの社会実装に向けた実証実験を支援

#### □ 事業化促進PJ（5件）

- 新たな技術・アイデアを活用したウェルネスサービスの創出を促すため、事業化に向けた実証実験を支援

詳細は別紙

### ネットワーキングイベントの開催

- 自治体、民間企業等を対象に、新たなウェルネスサービスの創出に向けた**連携関係の構築、先進サービスの知見共有・水平展開の促進等**を目的に2回開催（11月132名/3月133名参加）
- 参加者からは、先進事例の情報を得られただけではなく、こういった交流の機会があり、ありがたかったなどの好評な評価を得ることができた

### データ利活用検討会

- 有識者4名と東京都担当部課長3名で構成
- ウェルネス分野のデータ利活用の現状・課題を踏まえ、**データ活用のあり方や今後検討すべきルール等の取組の方向性を検討**

# 令和2年度 実証プロジェクト一覧①

令和2年度は、モデルプロジェクト2件・事業化促進プロジェクト5件を採択

	プロジェクト名・概要	参加事業者
モデルPJ①	<p><b>デジタル技術を活用した 高齢者・現役世代向け健康増進事業</b></p> <p>➤ 幅広い世代の健康増進推進のために豊島区民を対象にスマホアプリを通じて、PHRデータに基づくリスク予測やAI受診相談、インセンティブを受け取ることのできるサービス等を提供し、健康意識の向上、行動変容、健康行動の継続等を促した</p>	<p>代表団体：KDDI株式会社            参加団体：豊島区、イーザイ株式会社、株式会社ARISE analytics            協力団体：豊島区医師会、Ubie株式会社、レイ・フロンティア株式会社、株式会社ギフティ</p>
モデルPJ②	<p><b>都民の健康増進のための 産官学データ活用ウェルネスサービス実証</b></p> <p>➤ ウェルネスソリューション開発に向けた予防研究のための各種センサを活用したモニタリングデータの収集・個人データの可視化やデータ活用プラットフォームの実装に向けた課題整理とシステム化構想策定等を実施</p>	<p>代表団体：日本電気株式会社            参加団体：東京電力パワーグリッド株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、株式会社ローソン、東邦大学            協力団体：大田区</p>
事業化促進PJ①	<p><b>感染症・自然災害対策と社会活動の 両立を支援するPHR・スマートシティモデル</b></p> <p>➤ 個人同意のもとにPCR検査結果データを保険代理店と連携できるシステムを構築し、陽性判定者への迅速な保険金支払いを実現するデータ連携基盤を構築</p>	<p>代表団体：株式会社アルム            参加団体：医療法人天太会、株式会社フィナンシャル・エージェンシー            協力団体：SOMPOホールディングス株式会社</p>
事業化促進PJ②	<p><b>PHR事業の高度化検証・官民データ連携 プラットフォーム構想の検討</b></p> <p>➤ PHRサービスを、より多くの人に利用してもらい、利用者の継続率を高めるため、対象者の特徴や思考のクセ、認知バイアス等の意思決定プロセスを踏まえた参加・継続利用メッセージによる勧奨手法を開発することを目的とした取組</p>	<p>代表団体：株式会社NTTデータ            参加団体：株式会社NTTデータ経営研究所、株式会社NTTドコモ</p>

## 令和2年度 実証プロジェクト一覧②

令和2年度は、モデルプロジェクト2件・事業化促進プロジェクト5件を採択

	プロジェクト名・概要	参加事業者
事業化促進 PJ③	<b>母子手帳アプリを活用したデータ連携基盤整備とデータ活分子育て支援サービス</b> ▶ 江戸川区の「乳児家庭全戸訪問事業」を対象とし、そこで利用する「新生児訪問申請書」「育児支援のためのアンケート」「産後のお母さんのアンケート」「赤ちゃんの気持ちアンケート」をデジタル化し、リスク把握、アセスメント、情報の管理を行う仕組みを構築	代表団体：株式会社エムティーアイ 協力団体：江戸川区
事業化促進 PJ④	<b>電子お薬手帳データに基づいた患者への情報配信による服薬アドヒアランス向上</b> ▶ 電子お薬手帳「harmo」の利用患者における調剤情報から、特定の調剤履歴がある方を対象に、harmo(スマートフォンアプリ)のプッシュ通知機能を活用した薬の適正使用情報およびアンケートを配信し、その効果を検証	代表団体：シミックヘルスケア・インスティテュート株式会社
事業化促進 PJ⑤	<b>「成果の出しやすさ」指標の構築による個人の背景情報に応じた予防・健康づくり事業</b> ▶ 5つのリスク(喫煙、肥満、血圧、血糖、脂質)に対して、新規性と活用のしやすさの観点より、「成果の出しやすさ」指標の構築を行い、健診データ、レセプトデータ、適用データから成る解析のためのデータベース構築を行い、「成果の出しやすさ」指標のPoCを実施	代表団体：株式会社ミナケア

# 令和2年度の実施を通して得られた成果分析等

## 新たな民間と自治体の連携の形の確立

- ✓ **自治体と民間企業が協働し、ウェルネスデータを活用する連携の形として想定される2つのパターンの実装に向け、実証によるデータ取得・管理・連携・流通に関する課題抽出とともに、下記の点の検討を進める必要**
  - **リテラシーの醸成と相互理解の促進**
  - **マイナポータル、次世代医療基盤法の活用等、自治体内部での承認プロセス簡略化を実現する方法論の検討**
  - **データ流通による具体的な事例づくり・メリット/デメリットの抽出**

## PHR市場の形成・拡大

- ✓ **データ連携モデルが確立されることで実現する都民/自治体/産業界が必要とする具体的なサービスを描き実証していく必要**
- ✓ **上記データ連携モデルを活用した具体的なサービスのバリエーションの探索・サービス受容度の検証**
- ✓ **データ連携パターンの実装に向けたウェルネス分野のデータの取扱い/管理方法の留意点検討**
  - **都民との接点において法的な観点から整備すべき機能の抽出**
  - **複数のPHRサービス活用を想定したデータポータビリティのあり方検討**

## ウェルネスデータの流通・活用が行われる世界へ

- ✓ **ウェルネスデータを利活用に対する都民の意識・リテラシーを維持・高める取組や行動変容を実現する仕掛けの実装を通じてデータ流通・活用を実装していく必要**
  - **都民の意識・行動変容を実現するインセンティブの設計・検討**
  - **PHRサービスを選択する際に基準となるPHRサービス事業者認定等の必要性検討**